



Corporate Profile 2017



MOCHIDA

持田製薬グループ



E

企業理念

絶えず先見的特色ある製品を開発し、
医療の世界に積極的に参加し、
もって人類の健康・福祉に貢献する。

持田製薬グループ行動憲章 (要約)

コンプライアンス(法令遵守を含む社会的要請への誠実な対応)に努めるための基本姿勢

事業活動における 基本姿勢

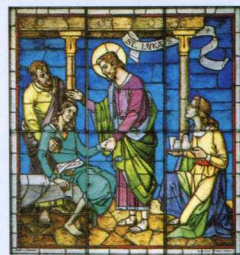
- ① 優れた製品を提供することにより
人類の健康・福祉に貢献する
- ② ステークホルダーから
支持される活動を行う
- ③ 営業上の利益より
倫理的行動を選択する
- ④ 常に地球環境に配慮する

社会的要請への 基本姿勢

- ① 高い倫理観をもって
企業活動を遂行する
- ② 正確な情報を
迅速・公正に開示する
- ③ 社員の人格と個性を尊重し、
安全で健全な職場環境の
維持・改善に努める
- ④ 反社会的勢力とは対決する
姿勢を堅持する

経営トップの 基本姿勢

- ① 自らの役割を認識し
率先垂範する
- ② 実効ある社内体制を整備し
企業倫理を徹底する
- ③ 内部通報窓口を設置し
通報者を保護する
- ④ 自らが問題解決にあたり、
原因究明、再発防止に努める



表紙解説

表紙のステンドグラスは、キリスト教伝道者の1人である聖ルカ(St.LUKAS)が、病に苦しむ民に投薬治療を行っている様子をモチーフに、健康を願う強い意志を表現したものです。持田製薬の本社ロビーに飾られています。

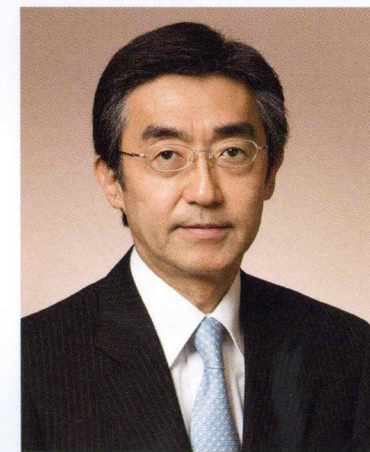
目次

トップメッセージ	1
医薬品事業	2
主要製品の紹介	3
研究開発	4
医薬品情報提供活動	5
製造・品質管理	6
製剤技術・剤型改良	7
後発医薬品	7
ヘルスケア事業	8
持田製薬グループ会社概要	10
持田製薬グループのあゆみ	12

トップメッセージ

医療・健康ニーズに応じて、
人々の健康・福祉にいつそう貢献してまいります。

持田製薬グループは、1913年に東京・本郷で「独創研究」の考えのもとに創業し、先見性と独創性にあふれる製品を世の中に送り出すことにより、日本の医療の発展に重要な役割を担ってまいりました。医療用医薬品に加え、早くから医療機器やヘルスケア分野にも進出し、患者さんの健康とQOL向上のため、オリジナリティの高い製品を開発・提供しております。高齢化が進むなか、医療を取り巻く環境は大きく変化し続けています。ますます高まる健康に対する関心と医療への期待に応えられるよう、わたしたちは環境変化に対応しながら着実に成長し続け、長期的にはグローバルにも存在価値を認められるスペシャリティファーマを目指してまいります。また、コンプライアンス経営を基本に据え、グループの社員一人ひとりが「持田製薬グループ行動憲章」を遵守し、常に高い倫理観をもって行動いたします。わたしたちはこれからも、創業の精神を忘れることなく、総合健康関連企業グループとして医療・健康ニーズに応えることにより、人々の健康・福祉にいつそう貢献するとともに、持続的な企業価値の向上を図ってまいります。



持田製薬株式会社
代表取締役社長

持田 直幸

医薬品事業

一人ひとりの患者さんのために 「先見的独創と研究」を実践し、 医療の発展に貢献します。

独創的で世の中の役に立つ医薬品を創る—「先見的独創と研究」を社是に掲げる持田製薬グループは、広く人々の健康を支える製品づくりを目指し、1913年の創業以来、日本で最初の注射剤の製造や、ホルモン・酵素・免疫関係の分野で、日本の医療の発展に重要な役割を担ってきました。

現在では、「循環器」「産婦人科」「皮膚科」「救急」「精神科」の重点領域に注力するとともに、難病の治療薬やバイオ医薬品の開発など、幅広いニーズに対応する独創的な研究開発に取り組んでいます。

わたしたちは、これからも医薬品事業を通じて、一人ひとりの患者さんの健康を願い、医療の発展に貢献していきます。

循環器

高脂血症、高血圧、狭心症など、生活習慣病といわれる疾患に対し、特徴のある製品を提供しています。

産婦人科

子宮内膜症などの婦人科系疾患の治療剤や、妊娠に関わる診断薬を通じて、女性の健康を守ります。

精神科

うつ病の治療剤や自律神経調整剤など、精神科領域で患者さんを支えます。

皮膚科

ウイルスや真菌による皮膚疾患、日光角化症などに対して、ユニークな治療剤で貢献しています。

救急

止血剤、ショック治療剤など、救急医療現場に欠かせない医薬品を提供しています。



主要製品の紹介

製品名
主な対象疾患



エパデール

高脂血症・閉塞性動脈硬化症
(世界初の高純度EPA製剤)



トレプロスト

肺動脈性肺高血圧症



アテレック/アテディオ配合錠

高血圧症



レクサプロ

うつ病、社会不安障害



トラムセット配合錠

慢性疼痛、抜歯後疼痛



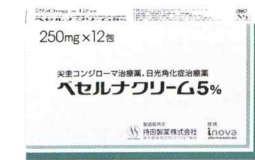
リアルダ

潰瘍性大腸炎



ディナゲスト

子宮内膜症、子宮筋症



ベセルナ

尖圭コンジローマ(日本初)
日光角化症



アラセナ-A

帯状疱疹、単純ヘルペス脳炎
(外用抗ウイルス剤では日本初)



フロリード

真菌症



ミラクリッド

急性肺炎、急性循環不全
(世界初のウリナスタチン製剤)



トロンビン

上部消化管出血等
(ソフトボルトタイプ)



ヘパリンNa注「モチダ」

血栓塞栓症



ファスティック

2型糖尿病



グランドグキシン

自律神経失調症、更年期障害等



スプレキュア

子宮内膜症、子宮筋腫



ディビゲル

更年期障害



ヘパリンカルシウム皮下注「モチダ」

血栓塞栓症、不育症

医薬品事業

研究開発

ひとりでも多くの患者さんのため、
独創的な医薬品の研究開発に挑み続けています。

スピーディな新薬創出で治療に貢献するために

患者さんが求める治療薬を、できるだけ早くお届けしたい。持田製薬では、これまでに培ってきた独自の研究開発力や数々の技術的ノウハウをベースに、さまざまな研究開発のプロセスで先見性と独創性を最大限に発揮しています。創薬研究をさらに効率化するため、オープンイノベーションの推進を通じた早期開発候補品の導入等により開発パイプラインの充実を図っています。



総合研究所(御殿場市)

生活習慣病を防ぎ、健やかに暮らしていただくために

持田製薬は、1990年、世界で初めて高純度のイコサペント酸エチル(EPA)を医薬品化することに成功しました。EPAはイワシなどの魚に含まれる脂肪酸のひとつです。持田製薬は、魚を多く摂取するイヌイットの人々には、高血圧や動脈硬化によって起こる心筋梗塞などの病気が少ないと

いう調査結果に着目し、この成分が病気の治療に応用できないか研究開発を重ねました。その結果、生まれたのが高脂血症を改善し、動脈硬化の発生を予防・治療する薬「エパデール」です。持田製薬が先見的な独創性を発揮して創製した医薬品のひとつです。

子宮内膜症の痛みから女性を守るために

ライフスタイルの変化によって子宮内膜症に悩む女性が増えています。持田製薬は、子宮内膜症の痛みから患者さんを解放したいという思いから、子宮内膜症の内服薬「ディナゲスト」を開発

し、2008年の発売以来、確かな評価を得ています。持田製薬は、これからも女性のさまざまなライフステージをカバーし、QOLの向上につながる治療薬を提供していきます。

QOL : quality of life(生活の質)

難病の患者さんに、新たな治療薬を届けるために

有効な治療薬が無かったり、患者さんの治療満足度が低い病気は、未だたくさんあります。持田製薬では、2014年発売の肺動脈性肺高血圧症治療剤、2016年発売の潰瘍性大腸炎治療剤など、難病の患者さんのための新たな治療薬の開発に取り組んでいます。また、これまでのバイオ医薬の経験と技術を活かして、好中球減少症の治療に用いるフィルグラスチムのバイオ後続品を開発し、2013年に発売しました。これに続くバイオ後続品の開発にも取り組んでおり、積極的に医療ニーズに応えていきます。



医薬品情報提供活動

患者さんと医療従事者の方々を笑顔にするため、
最新の医薬品情報を医療現場にお届けします。

正確・迅速な情報提供で、医薬品を適正に使っていただくために

医薬品は、適正に使用して初めて、本来の効果を発揮します。製薬会社には、医薬品に関する正確な情報を迅速に医療従事者に提供すること、処方された医薬品の有効性や安全性、副作用などの情報を医療従事者から収集・分析すること、さらにその情報を医療従事者にフィードバックすることなどが求められます。

持田製薬では、医薬品のスペシャリストであるMR (Medical Representative) による学術情報提供活動に加え、医学・薬学セミナーの開催や、ホームページを活用した医療用医薬品情報の発信などを通して、医療従事者に情報を提供し、患者さんの治療に役立てています。

最新のEBM情報の提供で、患者さんの治療に貢献するために

近年、EBM(科学的根拠に基づく医療)の重要性が高まるなか、医薬品に関してもEBMのためのさまざまな試験が行われています。持田製薬は、高純度EPA製剤「エパデール」について大規模臨床試験「JELIS」を実施しました。「JELIS」の解析結果は国内外の学会や国際的な医学誌で発表され、製品の有用

性が高く評価されています。そのエビデンス(科学的根拠)に基づき、EPA製剤は国内の複数の疾患治療ガイドラインに掲載されています。持田製薬では最新のEBM情報を医療現場に提供し、患者さんの治療に貢献しています。

疾患情報の提供を通して、患者さんをサポートするために

持田製薬では、患者さんに疾患について正しく理解してもらうためのさまざまな情報提供を行っています。疾患の知識や生活上の注意点などを解説した患者さんへの指導用資料を制作して、医療機関を通じて配布したり、周りに相談しにくい子宮内膜症・尖圭コンジローマ・うつ病や、まだまだ知られていない社交不安症・日光角化症・不育症などの

疾患に関する啓発サイト、女性のライフステージと病気について紹介する「ワタシのカラダ相談室」サイトなどをホームページ上に開設しています。これからも疾患情報の提供を通して、患者さんをサポートしていきます。

各種情報サイト



医薬品事業

製造・品質管理 | 持田製薬工場株式会社

高品質な医薬品を製造するため、
厳しい品質管理のもとで、高度な製剤技術を駆使しています。

一貫した製造管理体制で、 高品質の医薬品を製造するために

持田製薬工場株式会社は持田製薬グループの医薬品製造会社です。栃木県大田原市に本社工場を構え、その注射剤棟は、世界で最も厳しいといわれる欧米の品質管理基準に対応しています。原材料の受け入れから製品の出荷に至るまでの全工程を、コンピューターシステムにより一貫して管理するなど、新薬メーカーとしての確かな品質保証と高度な製剤技術により、高品質の医薬品を製造しています。

さまざまな医薬品の製造ニーズに対応するために

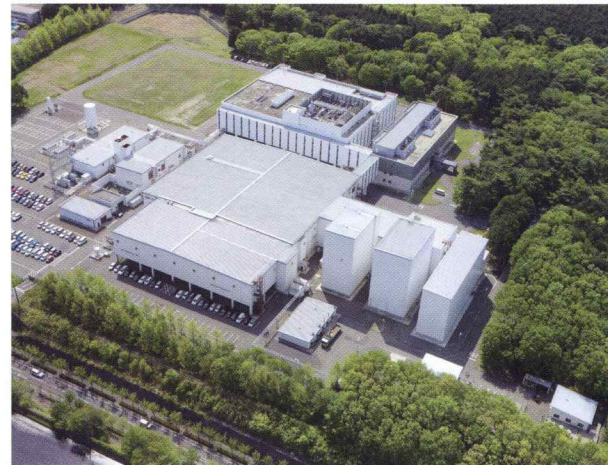
持田製薬グループで販売する医薬品の製造のみならず、他社からの受託製造にも積極的に取り組んでいます。新薬メーカーの製造部門として培った経験を活かし、多様な剤形やさまざまなスケールにも柔軟に対応した、高品質・安定供給・適正価格の受託製造を実現しています。

長年のノウハウを活かし、 高付加価値の医薬品をお届けするために

医薬品の製造工程は、研究開発と同様、高い技術力が要求されます。長年の製造ノウハウを活かし、得意とする酵素・蛋白質製剤や生物由来製品、また製造が難しいとされている凍結乾燥注射剤など、技術的に付加価値の高い製品を、自信を持って提供しています。

包装技術の向上で、医療現場のニーズに応えるために

製造においても医療現場のニーズに応える努力を続けており、医薬品管理の効率化のため、表示材料のコード表示による全数確認システムや、統一バーコードシステムを導入しています。さらに、医療現場で使用される場面を考え、容易に分別廃棄できるよう、材質を一種類にしたプラスチックボトル容器の採用や、医療過誤を防止するために形状を工夫した容器デザインの開発などに取り組んでいます。



持田製薬工場(株)本社工場(栃木県大田原市)



内服固形剤打錠装置



凍結乾燥機および自動搬出入装置

環境に配慮し、地域の方々と共に歩むために

本社工場は、環境マネジメントシステムの国際標準規格であるISO14001を取得し、省エネルギー化や廃棄物リサイクルの推進、環境にやさしい製品原料や包装材料の選定など、積極的に環境保全に取り組んでいます。その一貫として、さらなるCO₂の削減を目指し、当工場で使用している燃料についても、重油から液化天然ガスと電気に転換しています。

水質保全については、行政、地域の方々、および当工場が一堂に会して、工場周辺の河川や地下水の水質の推移や保全への取り組みを報告する場を定期的に設けるなど、環境保全への取り組みについて、積極的に情報開示し、地域社会とコミュニケーションを図っています。



液化天然ガス(LNG)貯蔵タンク

製剤技術・剤型改良

患者さんが服用しやすい医薬品を作るため、
製剤技術の開発に努め、さまざまな剤型改良に取り組んでいます。

持田製薬は患者さんや医療現場のニーズに応えた新薬開発を行うとともに、グループ一体となって製剤技術の開発に努め、既存の医薬品についてもさまざまな剤型改良に取り組んでいます。患者さんや医療従事者の視点・ニーズにきちんと目を向け、患者さんにとってより服用しやすい剤型を提供することも大切な使命と考えています。

オリジナル製剤技術「GEMTAB®」

薬を飲みやすくする技術のひとつGEMTAB®(Gelation Mini Tablets; ジェムタブ)は、唾液や水分で錠剤の表面がゲル化する技術で、当社グループが独自に開発しました。小さい粒状の錠剤の表面がゲル化コーティングされており、少量の水あるいは唾液と接するとゲル状となって適度にまとまるとともに、表面の摩擦抵抗が低下して飲み込みやすくなります。GEMTAB®技術は、大きく飲みにくい薬や、嚥下(えんげ)障害を持つ患者さん向けの薬に活用されています。



GEMTAB®技術を用いた抗ウイルス化学療法剤
(右下はゲル状となった錠剤)

後発医薬品 | 持田製薬販売株式会社

患者さんのニーズに応えるため、
付加価値の高い後発医薬品を開発し、提供しています。

持田製薬グループは、バイオ後続品、ジェネリック抗がん剤など、付加価値の高い後発医薬品にも取り組んでいます。

持田製薬販売株式会社は持田製薬グループの後発医薬品を取り扱う会社です。後発医薬品として重要な品質・情報・安定供給に配慮することはもちろん、医療過誤防止・医療従事者の安全・患者さんのアドヒアランス*1向上に配慮した製剤を開発しています。これからも、持田製薬販売株式会社が中心となって、患者さんや医療従事者のニーズに応えた後発医薬品を提供していきます。



産婦人科領域初のオーソライズドジェネリック*2

*1:患者さんが積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けること。 *2:先発品メーカーから許可を得て製造される後発医薬品。添加物なども含めて先発品と同一の後発医薬品として製造できる。

持田ヘルスケアは人々の皮膚を見つめ、 皮膚科学に基づく機能性と付加価値を持つ製品を提供しています。

持田ヘルスケア株式会社は、持田製薬グループの一員として「先見的独創と研究」という社是のもと、皮膚科医、産婦人科医や看護師とのコミュニケーションを通じて、皮膚科学に基づいた高い機能性と付加価値を持つ製品の開発に力を注いでいます。赤ちゃんが初めて出会うスキンケア「スキナベープ」、敏感肌のトータルスキンケア「コラージュシリーズ」、入浴できない方のラクラク清潔ケア「スキナシリーズ」。皮膚の研究から生まれた日本初の抗カビ(抗真菌)成分配合シャンプー・リンス等の「コラージュフルフルシリーズ」はその典型です。皮膚の一生に関わる持田ヘルスケアの製品づくりに妥協はありません。医薬品開発で培われた開発力をベースとして、これからも新たな製品の開発に努めていきます。

主要製品の紹介

敏感肌スキンケア

コラージュシリーズ

皮膚科医との連携から
日本で初めて水溶性コラーゲンの配合に成功、
敏感肌用スキンケアのパイオニアです。

香りのある化粧品が好まれ、尿素が保湿成分の主流だった1980年、皮膚科専門医の協力のもとに試験を繰り返し、日本で初めて水溶性の「S-コラーゲン」を配合した「コラージュクリーム」の開発に成功しました。デリケートな肌のことを考えて、低刺激性、無香料、無色素にこだわり、その後も敏感肌用スキンケアのパイオニアとして、皮膚科学に基づいたスキンケア製品を次々と生み出しました。

現在ではさらに製品に改良を重ね、2つのセラミドとコラーゲンを配合したシリーズとして、敏感肌・乾燥肌の方に提供しています。*

*製品の種類により配合成分が異なります。



コラージュ
石鹸シリーズ



コラージュ D メディパワーシリーズ



コラージュ化粧品シリーズ



コラージュホワイトニングシリーズ



コラージュ B.K.AGEシリーズ

年齢敏感肌の方の薬用スキンケア。
肌へのやさしさにこだわりました。

年齢を重ねて乾燥や敏感に傾いた肌(年齢敏感肌)を考慮、「コラージュホワイトニングシリーズ」「コラージュ B.K.AGEシリーズ」を開発しました。

そのほか、肌のタイプと用途に応じて選べる低刺激性石鹸シリーズや、乾燥肌(アトピー体質の方など)のボディケアシリーズを発売しており、お客さまのライフスタイルやニーズに合わせて、充実したラインナップを取りそろえています。

主要製品の紹介

ヘアケア・ボディケア

コラージュフルフルシリーズ

日本で初めて抗真菌成分を
シャンプー・リンス、石鹸に配合しました。

フケが、頭皮のカビ(真菌)の増殖によって起こることに着目し、「頭皮」をケアするという新しいコンセプトのもと、日本で初めて抗真菌成分(ミコナゾール硝酸塩)を配合した薬用シャンプー「コラージュフルフル」は生まれました。

フケやかゆみに悩んでいた方々からうれしい反響が寄せられ、現在ではシャンプーのほか、リンスやボディケア用の石鹸などの抗真菌成分配合製品を肌トラブルでお悩みの方に提供しています。

さらに、女性ホルモン配合の育毛剤も発売し、女性の抜毛のお悩みにお応えしています。



コラージュフルフルネクスト
シャンプー・リンス



コラージュフルフル 液体石鹸・泡石鹸
コラージュフルフル 育毛剤



スキナベープ

ベビーケア

スキナベープ

赤ちゃんを守る沐浴剤です。
たくさんのお母さんに愛用いただいています。

産婦人科医からの要望に応じて開発された、赤ちゃんの沐浴剤「スキナベープ」。赤ちゃんの沐浴は、石鹸を使うと抱えている手が滑りやすく、注意が必要でした。そこで、わたしたちは石鹸を使わなくてもきれいになり、滑りにくく、安全な沐浴剤の開発に取り組みました。

発売から40年以上経つ今も、たくさんのお母さん方に愛用いただいています。

介護・衛生ケア

スキナシリーズ

病気やけがで、入浴できない方へ。
入浴しなくても皮膚を清潔に保てる、清拭剤です。

「スキナシリーズ」は、病院やご自宅で入浴できない方が、肌を清潔にするための清拭剤です。病棟で看護師の要望に耳を傾け、製薬会社ならではの製品開発に取り組んだ結果、1970年、水を使わず皮膚をきれいにする清拭剤が誕生しました。介護する人も、される人も笑顔になってほしい、そんな思いで製品を提供し続け、長年にわたりご好評をいただいています。

現在では、ご利用いただく場面に合わせてお選びいただけるよう希釈タイプやドライシャンプーなどさまざまな種類をそろえています。



スキナシリーズ

持田製薬グループ会社概要

持田製薬株式会社

<http://www.mochida.co.jp/>

概況

創業 1913年4月16日
設立 1945年4月28日
事業内容 医薬品等の販売および輸出入
資本金 72億29百万円(東京証券取引所第一部上場)
売上高 973億49百万円(連結)(2017年3月期)
経常利益 116億48百万円(連結)(2017年3月期)
従業員数 1,713名(連結)(2017年3月末)

役員(2017年6月29日現在)

取締役および監査役

代表取締役社長 持田 直幸	社外取締役 釘澤 知雄
代表取締役 専務取締役 専務執行役員 坂田 中	社外取締役 十川 廣國
取締役 専務執行役員 匂坂 圭一	常勤監査役 小川 洋
取締役 常務執行役員 河野 洋一	常勤監査役 橋本 好晴
取締役 常務執行役員 榊 潤一	社外監査役 渡辺 宏
取締役 常務執行役員 水口 清	社外監査役 小林 哲也
取締役 執行役員 中村 浩	社外監査役 和貝 享介
取締役 執行役員 高橋 一郎	
取締役相談役 青木 誠	



執行役員(取締役による兼務は除く)

宮地 和浩
加藤 勝之
高田 和則
川上 裕
鈴木 茂治
福地 一雅
竹田 雅好
松末 朋和
持田 健志

事業所・研究所

本社 〒160-8515 東京都新宿区四谷1-7
TEL 03-3358-7211

支店 札幌支店/仙台支店/東京第二支店/東京支店/首都圏支店/名古屋支店/京都支店/大阪支店/
広島支店/福岡支店

その他の営業拠点 旭川/函館/青森/盛岡/秋田/郡山/高崎/宇都宮/水戸/土浦/新潟/松本/甲府/多摩/千葉/
松戸/埼玉/川越/厚木/静岡/浜松/北陸/大阪北/堺/神戸/米子/岡山/山口/高松/松山/
徳島/高知/北九州/長崎/熊本/大分/宮崎/鹿児島/沖縄

研究所 総合研究所(御殿場市)/製剤研究所(藤枝市)

持田製薬工場株式会社

<http://mpp.mochida.co.jp/>

概況

営業開始日 2005年4月1日
代表者 代表取締役社長 猶塚 正明
事業内容 医薬品製造
資本金 5億円(持田製薬全額出資)
本社工場 〒324-0062 栃木県大田原市中田原431
TEL 0287-24-1111



持田ヘルスケア株式会社

<http://hc.mochida.co.jp/>

概況

営業開始日 2004年4月1日
代表者 代表取締役社長 秋田 伸二
事業内容 ヘル스ケア製品の製造販売
資本金 1億円(持田製薬全額出資)
本社 〒162-8451 東京都新宿区市谷本村町2-12 パックスビル
TEL 03-5229-3940
活動拠点 札幌支店/仙台営業所/東京支店/横浜営業所/名古屋営業所/
大阪支店/広島営業所/福岡支店/埼玉工場



持田製薬販売株式会社

<http://www.mochida-sales.co.jp/>

概況

営業開始日 2014年6月2日
代表者 代表取締役社長 名越 哲也
事業内容 医薬品販売
資本金 10百万円(持田製薬全額出資)
本社 〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-12 パックスビル
TEL 03-5229-3929

株式会社テクノネット

〒160-8515 東京都新宿区四谷1-7 TEL 03-3353-7511











株式会社テクノファイン






〒426-8640 静岡県藤枝市源助342 TEL 054-636-7032

持田記念医学薬学振興財団

〒160-0003 東京都新宿区本塩町7-6 四谷ワイズビル TEL 03-3357-1282

持田製薬グループのあゆみ

1913 創業者持田良吉が文京区本郷にて持田商会薬局を開業


 医薬品製造開始
 「眼科用モチダ式黄降承軟膏」製造・販売
 注射用駆梅毒剤「ルエスチン」製造・販売
 1929 日本初の臓器製止血剤「トロンプリン」創製
 1932 日本初の天然卵胞ホルモン製剤「ペラニン」完成・発売


 1935 男性ホルモン剤「テストノン」発売
 1945 持田製薬株式会社設立
 1951 日本初の拡散酵素剤「スプラゼ」発売

 1952 複合天然女性機能ホルモン「エストロパン」発売
 1956 血液凝固促進酵素剤「トロンビン」国産化に成功
 1960 子宮収縮止血剤「パルタン」発売
 1963 東京証券取引所第二部市場上場
 1964 持田信夫 代表取締役社長就任

 国産初の免疫学的妊娠診断薬「ゴナビス」発売

 炎症緩解用酵素製剤「キモタブ」発売

 1970 妊娠診断用試薬「ゴナビスライド」発売
 日本万国博テーマ館「いのち」の部門に参加、DNA構造模型を展示
 薬粧製品（パラメジカル）部門発足、医薬部外品領域に進出

 線維素溶解酵素剤「ウロナゼ」発売

 沐浴剤「スキナベープ」発売

1972 医療機器部門発足
 静岡工場完成・稼働
 1975 テンダースキンソープ「ニュートロジーナ」発売
 埼玉工場完成・稼働
 東京証券取引所第一部市場銘柄に指定替え
 1976 本社社屋（四谷）完成・移転
 1977 日本初の電子スキャン方式の超音波診断装置「ソノピスタ」発売


 1979 循環機能改善剤「ロコルナル」発売
 1980 日本初の水溶性コラーゲン配合基礎化粧品「コラーージュクリーム」発売

 国産初の炭酸ガスレーザー手術装置「メディレーザ-S」発売
 1981 林原生物化学研究所とインターフェロンの技術提携契約締結
 1982 富士中央研究所（御殿場）完成・開設
 1983 財団法人持田記念医学薬学振興財団設立
 1984 ウイルス脳炎治療剤「アラセナ-A」発売
 高松宮・同妃両殿下が富士中央研究所をご台覧

 1985 持田英 代表取締役社長就任
 世界初のウリナスタチン製剤「ミラクリッド」発売
 1986 深在性真菌症治療剤「フロリードF注」発売
 自律神経調整剤「グランダキシン」発売

 1988 肌別に使用できる低刺激性石鹸「コラーージュ石鹸」発売
 化学療法剤「イソプリノシン」発売
 天然型インターフェロン製剤「IFNαモチダ500」「IFNβモチダ」発売
 1989 四環系抗うつ剤「テンプル」発売

1990 渡辺進 代表取締役社長就任

 世界初の高純度EPA製剤「エパデールカプセル300」発売
 1991 大田原工場完成
 1992 日本初の外用抗ウイルス剤「アラセナ-A軟膏」発売
 1996 「エパデール」の大規模試験「JELIS」開始
 1997 持続性Caチャンネル拮抗降圧剤「アテレック」発売

 1999 持田直幸 代表取締役社長就任

 EPA製剤「エパデールS300・S600」発売
 低用量経口避妊薬「オーソ777-28・M-21」発売
 日本初の抗真菌成分配合シャンプー「コラーージュフルフル」発売
 2001 妊娠診断補助試薬「ゴナスティック25」発売
 抗ウイルス剤「アラセナ-Aクリーム」発売
 2002 大田原工場 ISO 14001 認証取得
 健康補助食品「ビタコラーージュ」発売
 GnRH誘導体製剤「スプレキュア」発売
 2003 止血剤「トロンピン液モチダソフトボトル」発売

 基礎化粧品「コラーージュSシリーズ」発売
 持田メディカルシステム（株）営業開始
 2004 持田ヘルスケア（株）営業開始
 スティックタイプのEPA製剤「エパデールS900」発売

 持田メディカルシステム（株）が持田シーメンスメディカルシステム（株）として営業開始（2009年持分法適用会社から除外）
 2005 持田製薬工場（株）営業開始
 日本初の敏感肌用美白シリーズ「コラーージュホワイトニングシリーズ」発売
 米国内臓協会（AHA）で「エパデール」の大規模試験「JELIS」の結果が発表
 2006 「コラーージュフルフル液体石鹸」発売

2007 降圧剤「ディオバン」の共同プロモーション開始（2008年末終了）
 日本初の尖圭コンジローム治療薬「ベセルナ」発売

 2008 子宮内膜症治療剤「ディナゲスト」発売

 酵素配合パウダー状洗顔料「コラーージュホワイトピール」発売
 経皮吸収エストロジオール製剤「ディビゲル」発売
 2009 妊娠診断補助試薬「ゴナスティックW」発売
 抗真菌成分配合シャンプー・リンス「コラーージュフルフルネクスト」発売

 2011 抗うつ剤「レクサプロ」発売

 2012 速効型食後血糖降下剤「ファスティック」発売
 特定保健用食品（トクホ）「グルコリーナ」発売
 2013 「エパデール」のスイッチOTC医薬品発売
 「コラーージュB.K.AGEシリーズ」発売

 バイオ後続品G-CSF製剤「フィルグラスチムBS注シリンジ「モチダ」」発売

 疼痛治療剤「トラムセット配合錠」発売

 2014 高血圧症治療剤「アテディオ配合錠」発売

 持田製薬販売（株）営業開始
 「コラーージュ化粧品シリーズ」リニューアル発売

 肺動脈性肺高血圧症治療剤「トレプロスト」発売

 2016 潰瘍性大腸炎治療剤「リアルダ」発売

 2017 潰瘍性大腸炎の体外診断用医薬品「カルプロテクチンモチダ」発売



岡本太郎 作「歓び」の像
(本社玄関前、新宿区地域文化財認定)

持田製薬グループは、総合健康関連企業として、常に「歓び」の心を持って、人々の健康的で豊かな暮らしに貢献してまいります。



持田製薬グループ

MOCHIDA



2017.08